

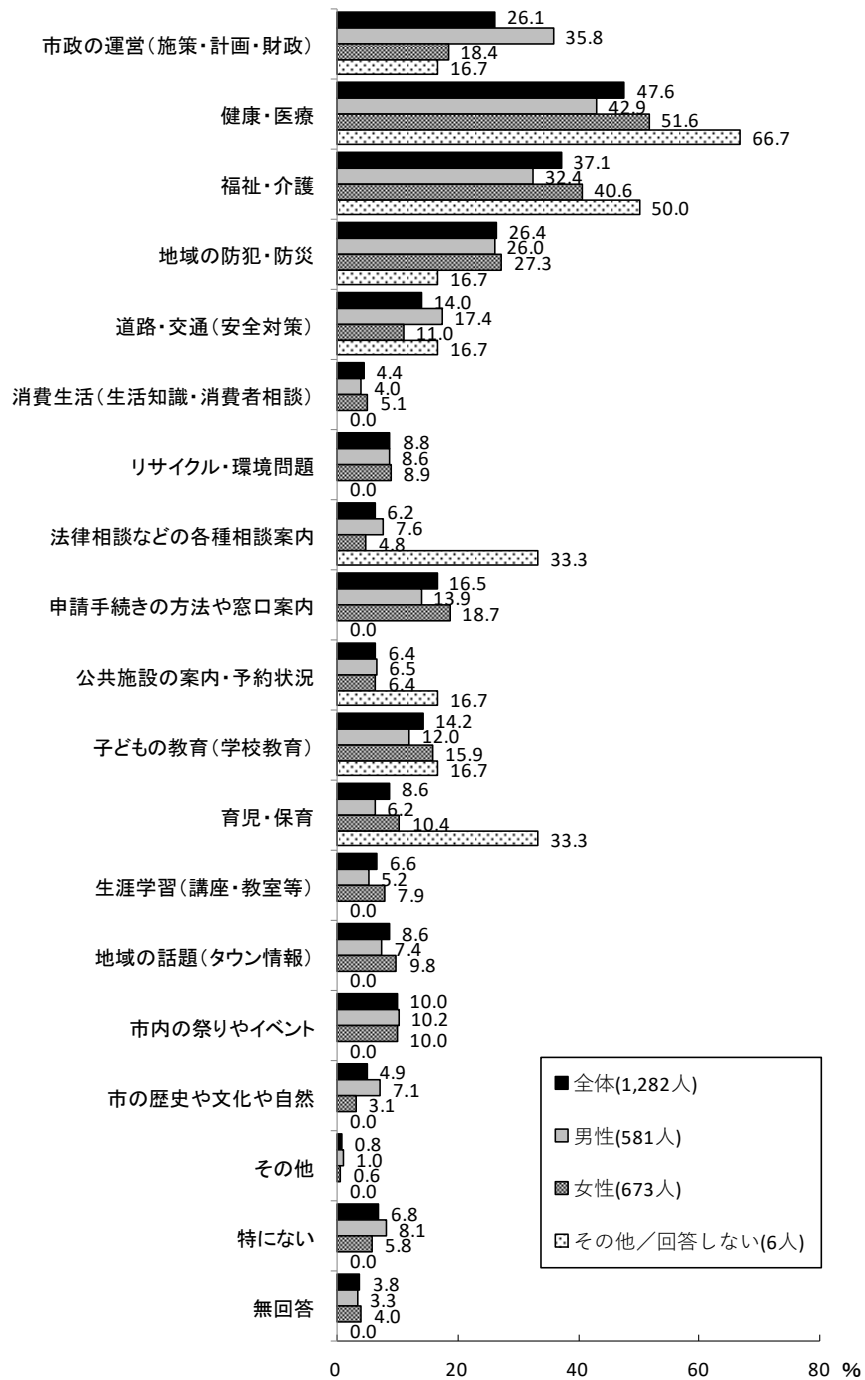
# 10 市政情報について

## 10-1 知りたいと思う市政情報

◆「健康・医療」47.6%◆

問 34 あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

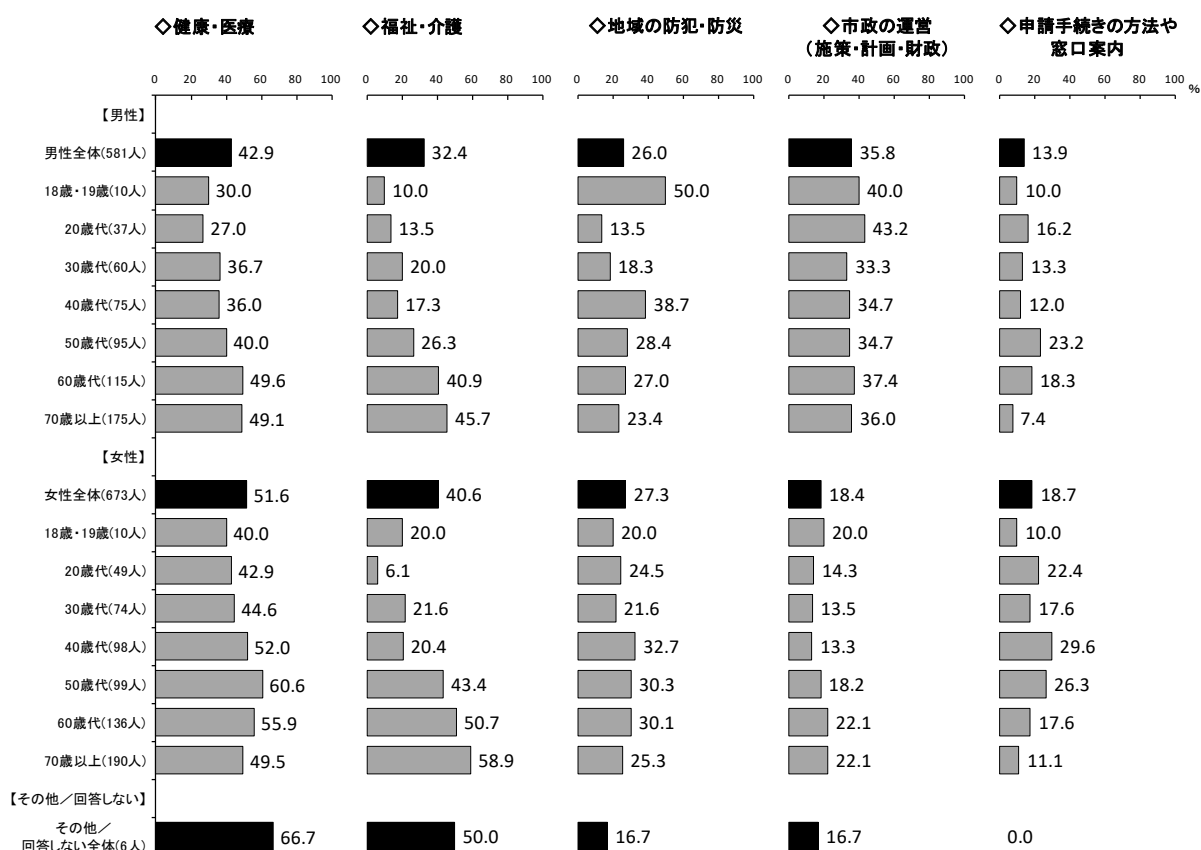
知りたいと思う市政情報（全体・性別）



全体では「健康・医療」が47.6%と最も高く、次いで「福祉・介護」(37.1%)、「地域の防犯・防災」(26.4%)、「市政の運営(施策・計画・財政)」(26.1%)、「申請手続きの方法や窓口案内」(16.5%)と続いています。

性別で見ると「市政の運営(施策・計画・財政)」で男性(35.8%)が女性(18.4%)を17.4ポイント上回っています。また「道路・交通(安全対策)」で男性(17.4%)が女性(11.0%)を6.4ポイント上回っています。一方「健康・医療」は女性(51.6%)が男性(42.9%)を8.7ポイント、「福祉・介護」では女性(40.6%)が男性(32.4%)を8.2ポイント上回っています。

### 知りたいと思う市政情報(上位5項目 性・年代別)



性・年代別で見ると「健康・医療」は男性の60歳代以降で5割、女性の50歳代で6割と高くなっています。

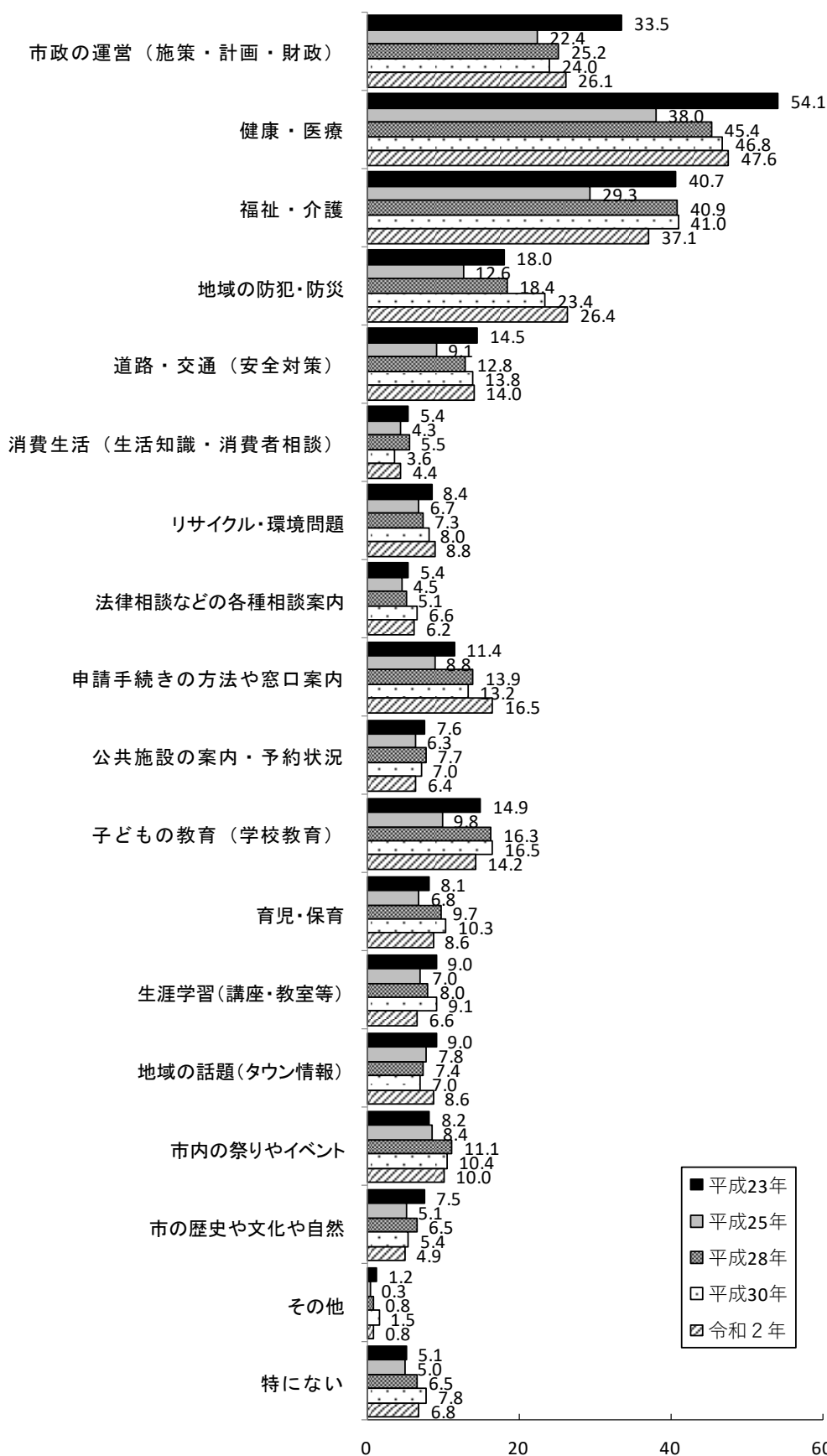
「福祉・介護」は男性・女性とも年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上は45.7%、女性の70歳以上は58.9%とそれぞれ最も高くなっています。

「地域の防犯・防災」は男性の18歳・19歳で50.0%と最も高く、女性では40~60歳代で3割以上と比較的高くなっています。

「市政の運営(施策・計画・財政)」は男性の18歳・19歳、20歳代で4割以上と高くなっています。女性では18歳・19歳、60歳代以降で2割を超え、比較的高くなっています。

「申請手続きの方法や窓口案内」は男性の50歳代で23.2%、女性の40歳代で29.6%とそれぞれ最も高くなっています。

### 知りたいと思う市政情報（経年比較）

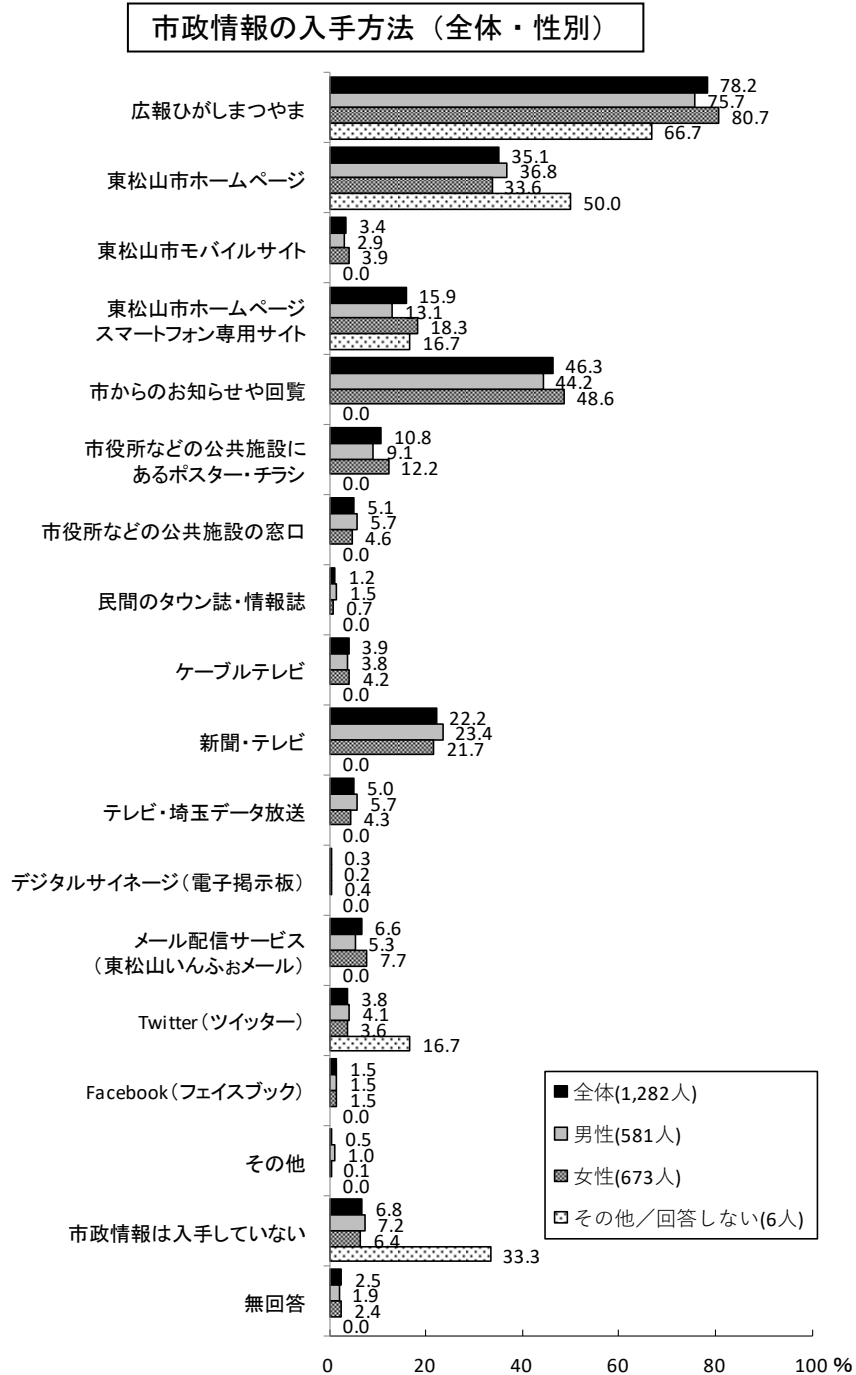


平成 25 年度調査以降「市政の運営」「健康・医療」「地域の防犯・防災」「道路・交通（安全対策）」「リサイクル・環境問題」「申請手続きの方法や窓口案内」は増加傾向がみられません。

## 10-2 市政情報の入手方法

◆「広報ひがしまつやま」78.2%◆

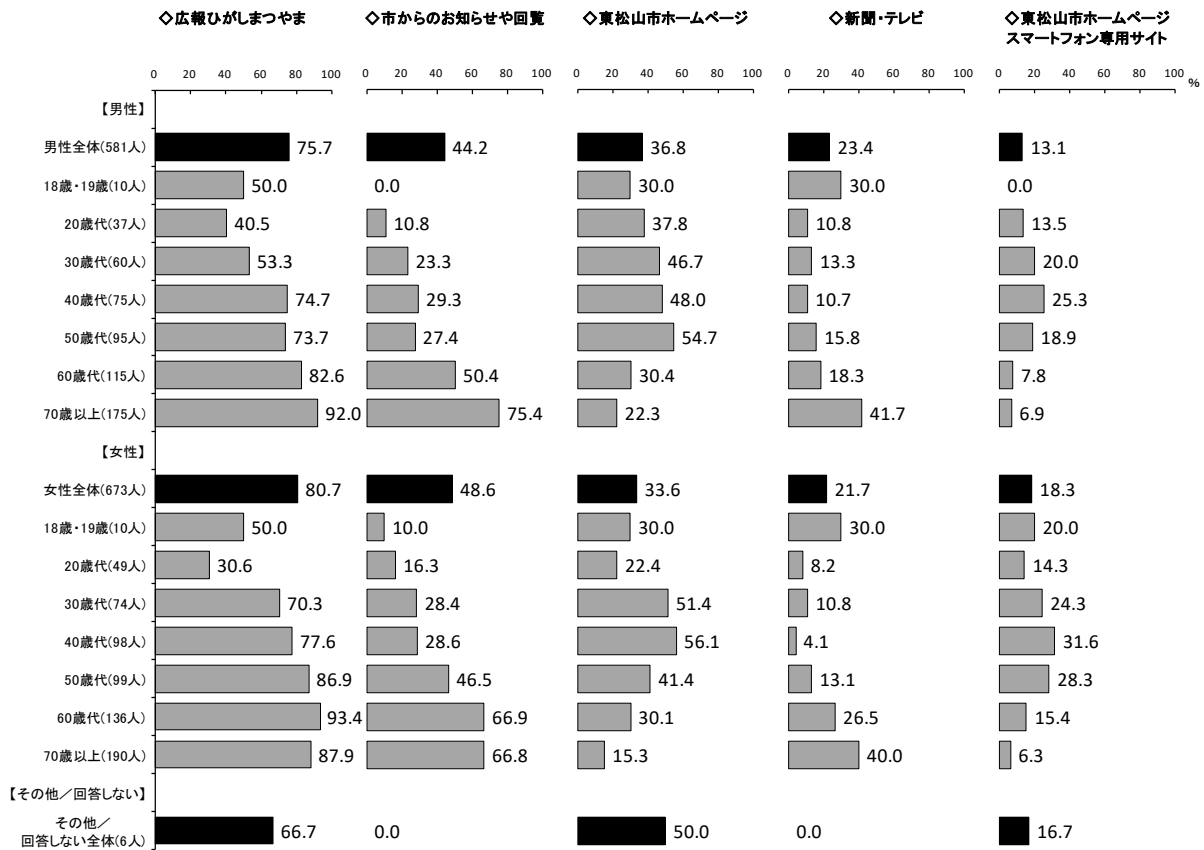
問 35 あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「広報ひがしまつやま」が78.2%と最も高く、次いで「市からのお知らせや回覧」(46.3%)「東松山市ホームページ」(35.1%)「新聞・テレビ」(22.2%)「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」(15.9%)と続いています。

性別で見ると「広報ひがしまつやま」では女性(80.7%)が男性(75.7%)を5.0ポイント「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」では女性(18.3%)が男性(13.1%)を5.2ポイント上回っています。

## 市政情報の入手方法（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「広報ひがしまつやま」は男性の70歳以上、女性の60歳代で9割以上と高い割合となっていますが、男性の20歳代は40.5%、女性の20歳代は30.6%と低くなっています。

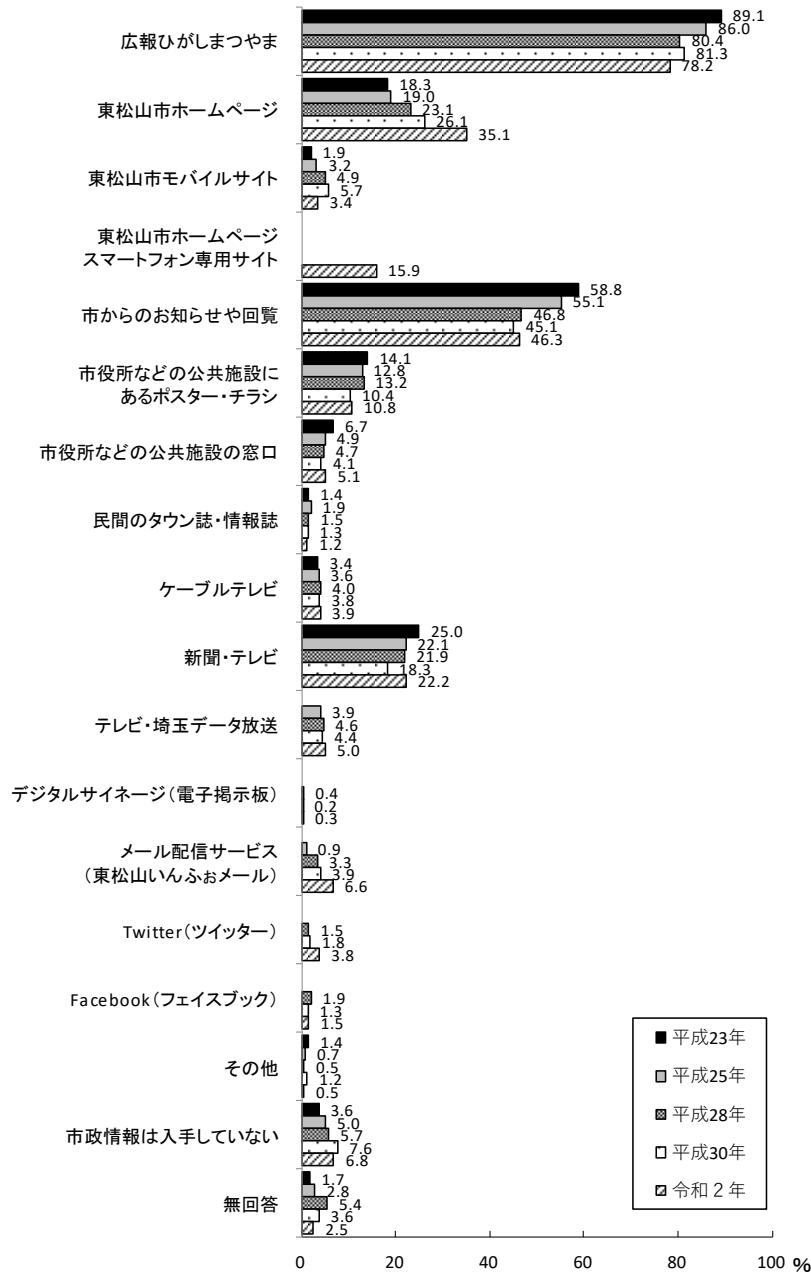
「市からのお知らせや回覧」は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上で75.4%、女性の60歳代以降で6割台半ばと高くなっています。

「東松山市ホームページ」は男性の50歳代で54.7%と、女性の40歳代で56.1%とそれぞれ最も高くなっています。

「新聞・テレビ」は男性の70歳以上で41.7%、女性の70歳以上で40.0%と最も高く、次いで18歳・19歳（男性・女性とも30.0%）が高くなっています。

「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」は男性・女性ともに40歳代で最も高く、男性の40歳代で25.3%、女性の40歳代で31.6%となっています。

## 市政情報の入手方法（経年比較）



※「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」は平成25年度までは「メール配信サービス・Twitter（ツイッター）」、平成30年度までは「メール配信サービス」で平成25年度からの選択肢となります。「テレビ埼玉データ放送」は平成25年度調査から、「デジタルサイネージ（電子掲示板）」「Twitter（ツイッター）」「Facebook（フェイスブック）」は平成28年度から、「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」は令和2年度からの選択肢となります。

平成23年度調査以降、「東松山市ホームページ」「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」「Twitter（ツイッター）」は増加傾向にあります。一方「広報ひがしまつやま」「市からのお知らせや回覧」「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」は減少傾向にあります。

平成30年度調査と比較するとほとんどの項目で増加傾向にあり、特に「東松山市ホームページ」は9.0ポイント増加しています。一方「広報ひがしまつやま」は3.1ポイント、「東松山市モバイルサイト」は2.3ポイント減少しています。

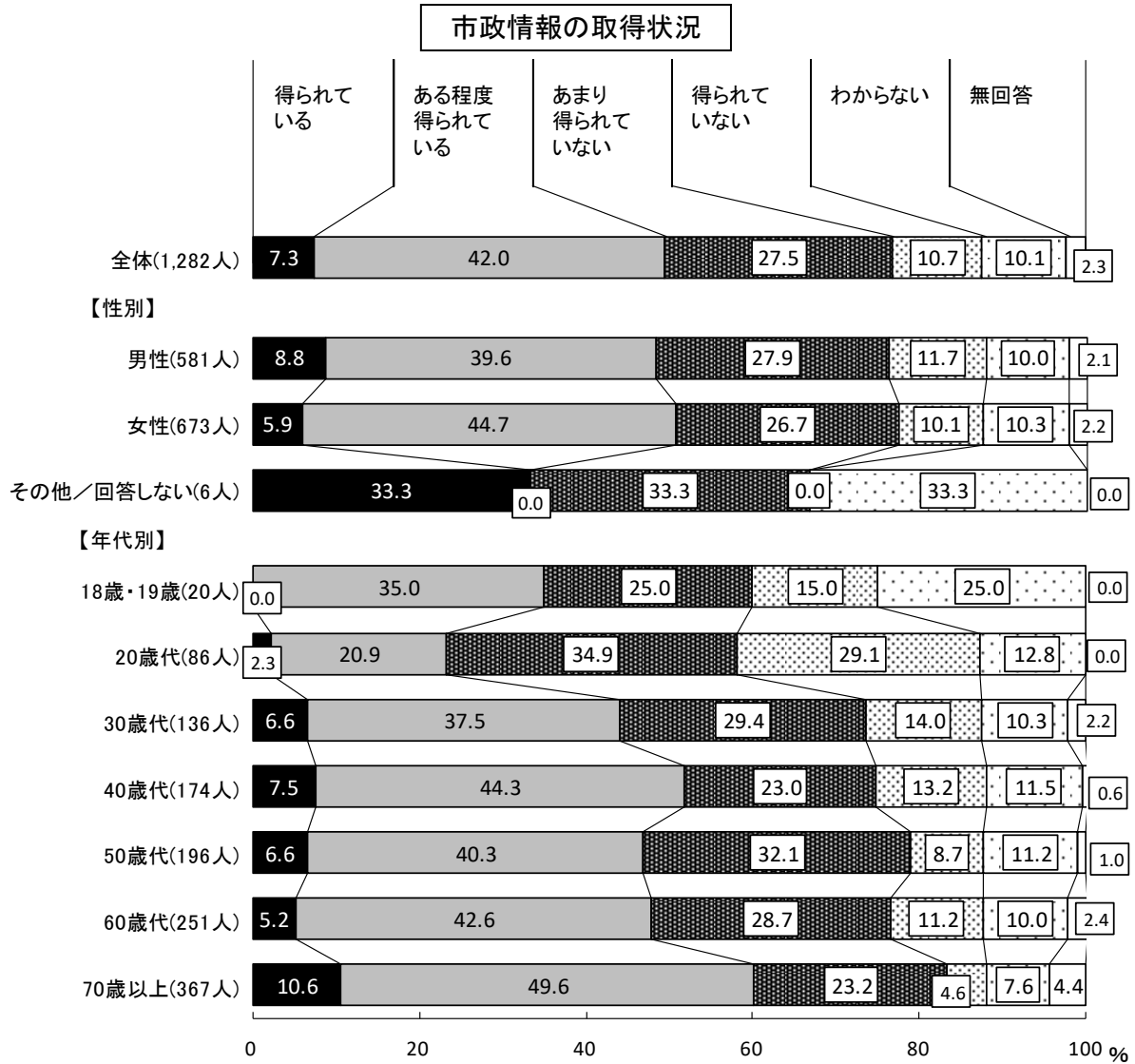
「広報ひがしまつやま」は、市政情報を得る手段として高い支持を受けている状況は変わらないものの、平成30年度調査と比較すると減少に転じています。

「市政情報は入手していない」は、平成23年度調査以降微増傾向にありましたが、平成30年度調査と比較すると微減しています。

### 10-3 市政情報の取得状況

◆ “市政情報を得られている” 49.3%、“市政情報を得られていない” 38.2%◆

問 36 あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



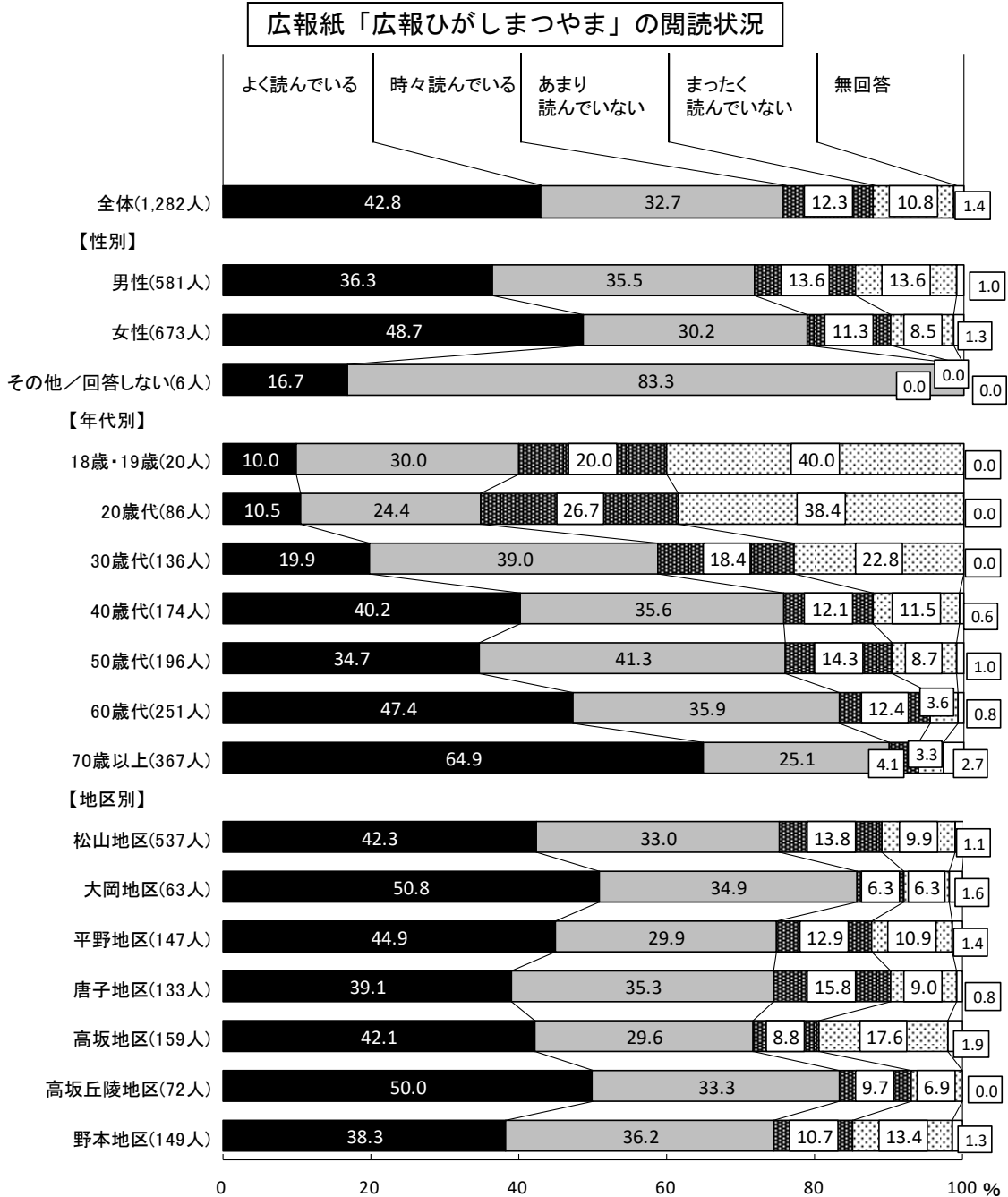
全体で見ると「得られている」(7.3%)、「ある程度得られている」(42.0%)を合わせた“市政情報を得られている”と回答した人は、49.3%となっています。一方「得られていない」(10.7%)、「あまり得られていない」(27.5%)を合わせた“市政情報を得られていない”は38.2%となっています。

年代別で見ると、30歳代以降の年代では“市政情報を得られている”が“市政情報を得られていない”の割合を上回っていますが、18歳・19歳、20歳代では“市政情報を得られていない”の割合の方が高くなっています。“市政情報を得られている”の割合は70歳以上で60.2%と最も高くなっています。一方“市政情報を得られていない”の割合は20歳代で64.0%と高くなっています。

## 10-4 広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況

◆ “読んでいる” 75.5%、“読んでいない” 23.1%◆

問 37 あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況」は新設の設問です。

全体で見ると「よく読んでいる」(42.8%)、「時々読んでいる」(32.7%)を合わせた“読んでいる”と回答した人は、75.5%となっています。一方「まったく読んでいない」(10.8%)、「あまり読んでいない」(12.3%)を合わせた“読んでいない”は23.1%となっています。

年代別で見ると“読んでいる”は年齢が高くなるほど高くなる傾向にあります。70歳以上では「よく読んでいる」が64.9%と高くなっています。

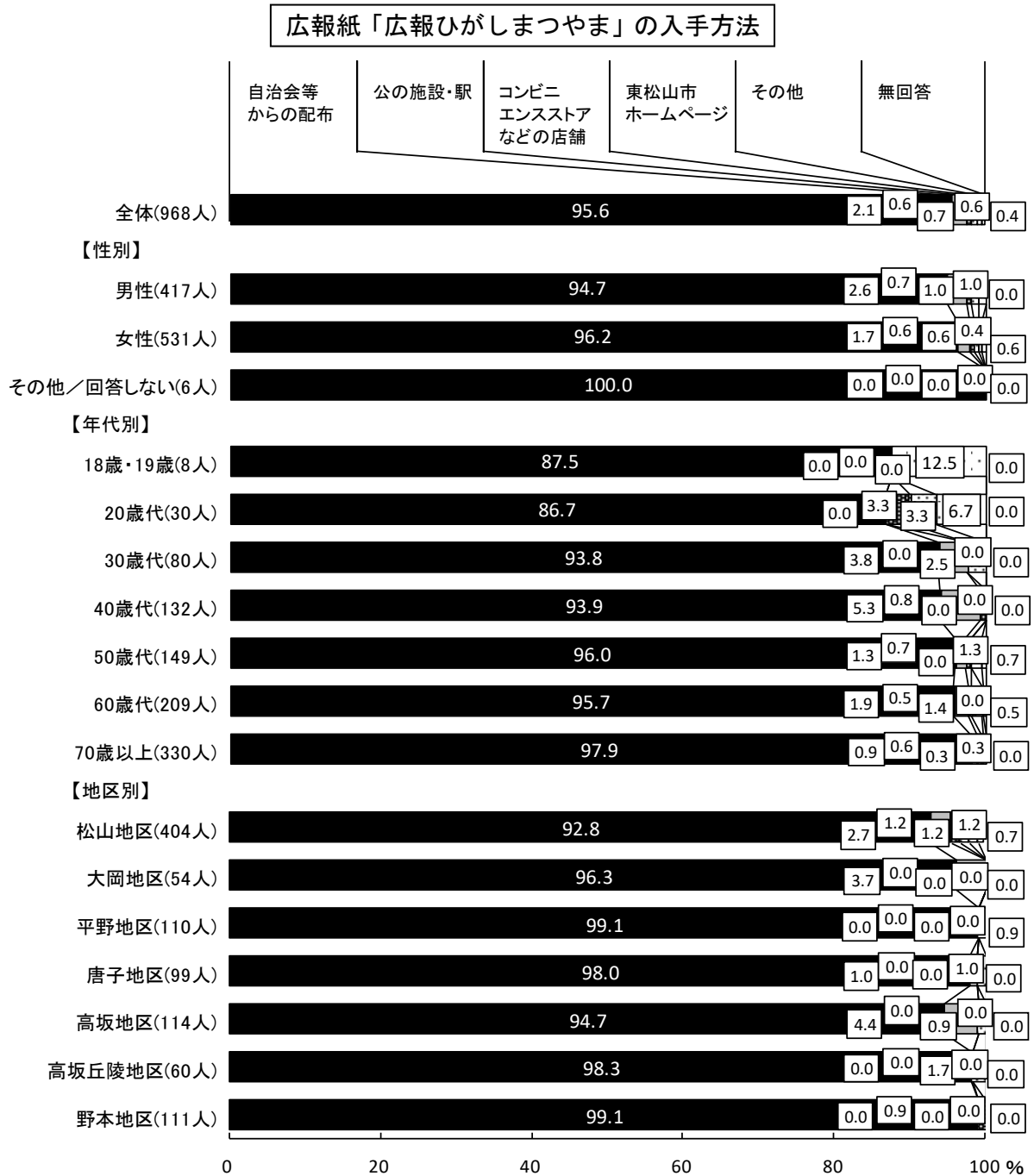
地区別で見ると“読んでいる”は大岡地区(85.7%)、高坂丘陵地区(83.3%)で8割を超え高くなっています。



## 10-5 広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法

◆「自治会等からの配布」95.6%◆

(問 37 で「よく読んでいます」または「時々読んでいます」とお答えの方におたずねします)  
 問 37-1 「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法」は新設の設問です。

全体で見ると「自治会等からの配布」が95.6%と大半を占めています。  
 年代で見ると「自治会等からの配布」は18歳・19歳、20歳代で8割台となっています。

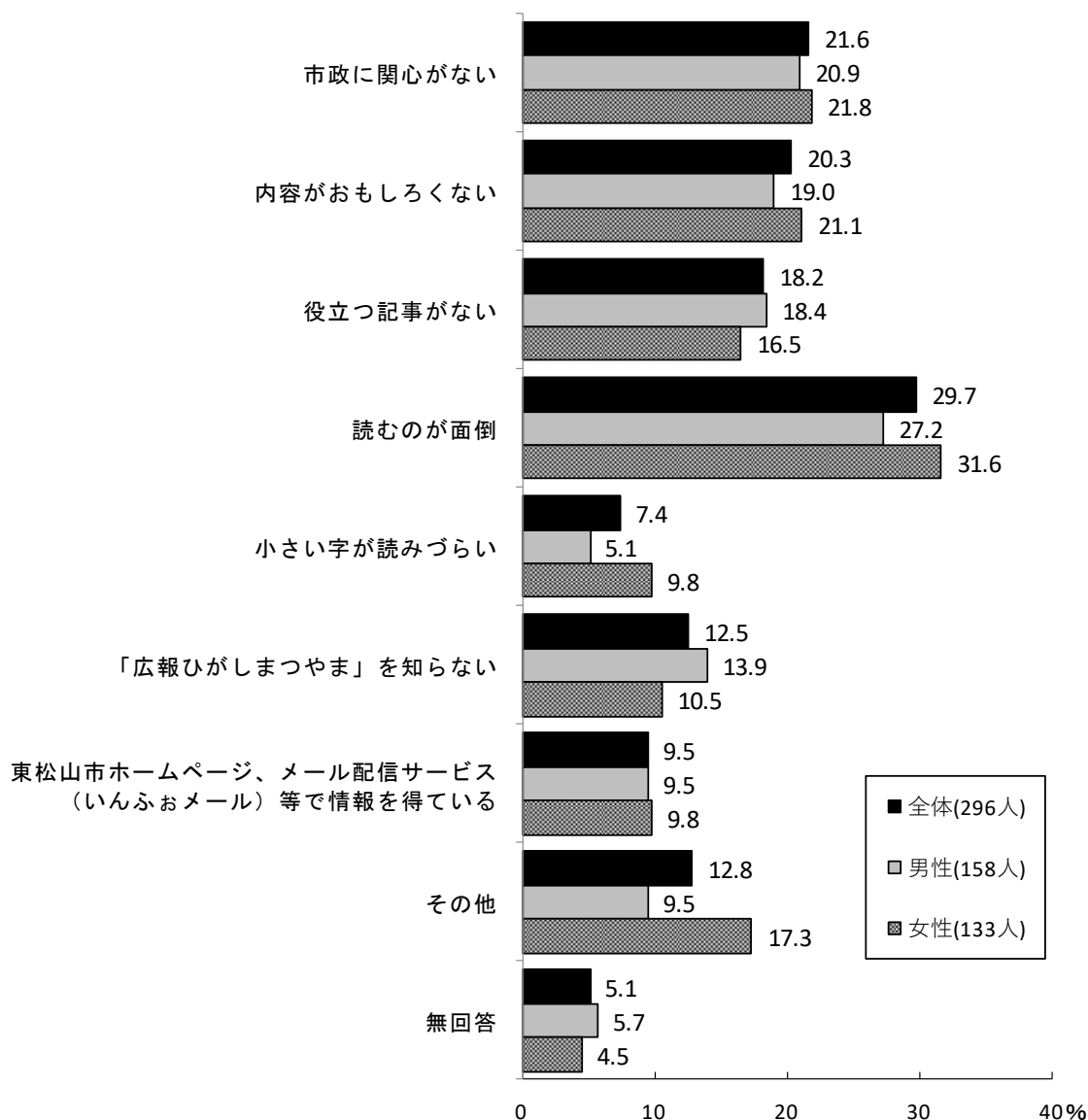
## 10-6 広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由

◆「読むのが面倒」29.7%、「市政に関心がない」21.6%◆

(問 37 で「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」とお答えの方におたずねします)

問 37-2 「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（全体・性別）

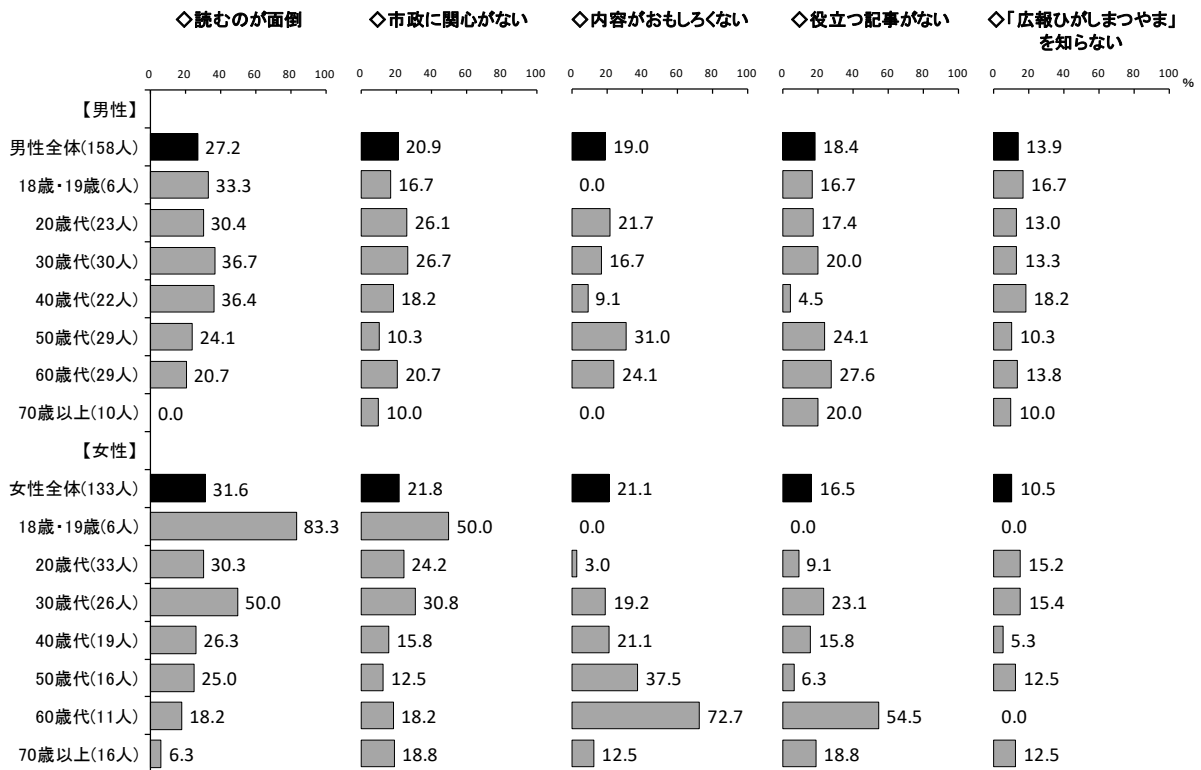


※「広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由」は新設の設問です。

全体では「読むのが面倒」が29.7%と最も高く、次いで「市政に関心がない」(21.6%)、「内容がおもしろくない」(20.3%)、「役立つ記事がない」(18.2%)、「「広報ひがしまつやま」を知らない」(12.5%)と続いています。

性別でみると「読むのが面倒」では女性(31.6%)が男性(27.2%)を4.4ポイント、「小さい字が読みづらい」では女性(9.8%)が男性(5.1%)を4.7ポイント上回っています。一方「「広報ひがしまつやま」を知らない」では男性(13.9%)が女性(10.5%)を3.4ポイント上回っています。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「読むのが面倒」は女性の18歳・19歳で83.3%と群を抜いて高くなっています。また、男性の30～40歳代で3割台半ば、女性の30歳代で5割となっています。

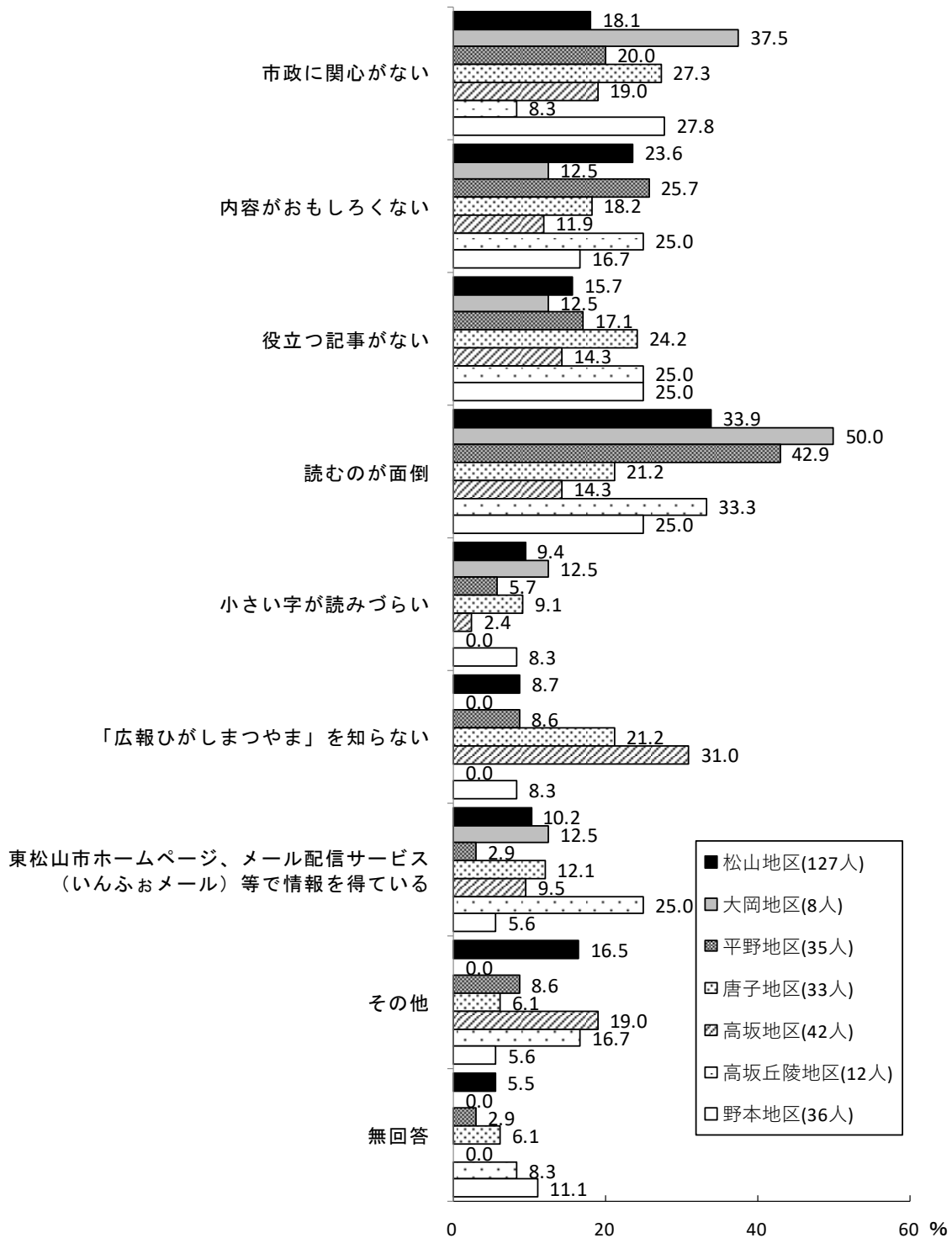
「市政に関心がない」は女性の18歳・19歳で50.0%と最も高くなっています。また、男性の20～30歳代で2割台半ば、女性の30歳代で3割となっています。

「内容がおもしろくない」は女性の60歳代で72.7%と特に高くなっています。男性・女性ともに50歳代で3割台となっています。

「役立つ記事がない」は男性・女性ともに60歳代で最も高くなっていますが、女性(54.5%)が男性(27.6%)を26.9ポイント上回っています。

「「広報ひがしまつやま」を知らない」は男性・女性ともに全ての年代で2割以下と低くなっていますが、男性の40歳代(18.2%)、女性の20歳代(15.2%)、30歳代(15.4%)で比較的高くなっています。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（地区別）



地区別で見ると「市政に関心がない」は大岡地区で37.5%と最も高くなっており、野本地区（27.8%）、唐子地区（27.3%）と続いています。

「読むのが面倒」は大岡地区で50.0%、平野地区で42.9%と高くなっています。

「「広報ひがしまつやま」を知らない」は高坂地区で31.0%と高くなっています。

「東松山市ホームページ、メール配信サービス（いんふおメール）等で情報を得ている」は高坂丘陵地区で25.0%と他の地区に比べ高くなっています。